

## **トリエステでは以下のような地域精神保健サービスが**

### **履行されているからこそ「世界のモデル」なのです**

- 精神病院を完ぺきになくしました(日本は世界に冠たる精神病院大国です)
- 24 万都市で精神科ベッドは総合病院に 6 床です。ここに救急搬送されるような人々も、逃げ出したければ逃げ出すのも自由、つまり隔離や拘束をされません
- 精神科的クライシスの人を排除しません。重い精神疾患の人々をも在宅で支えています(日本では精神病院に入れて縛ったり保護室に幽閉したりが当たり前です)
- 司令塔である精神保健センターは 365 日休みなし、24 時間オープンです。「困ったときはいつでも連絡をください。病気の重い軽いは関係ありません」と市民に呼び掛けています(日本では家族が途方に暮れています)
- 新しい精神保健法(180 号法)は革命的精神保健法です。精神病院をゼロにするという目標を掲げ、精神科医を治安の責務から解放しました。病院の人材をまるごと外に出せ、ともうたっています。(日本の精神科医は治安の責務を負わされています)
- 強制治療にも“優しい強制”と“怖い強制”があります。トリエステは優しい強制です(日本は怖い強制です)
- 地域精神保健は「病院主義」より37%も安いのです(日本では精神病院 30 万床の入院費1兆円前後を国民が負担させられているのです)
- トリエステ精神保健局は刑務所・拘置所への出前診療を40年も続けています
- トリエステは司法精神病院の被収容者も、地域精神保健サービスで吸収します
- 作業療法を1973年に廃止、入院者といえども労働者として遇します
- トリエステ精神保健サービスは患者も家族も救済します。(日本は患者の救済✕、家族の救済▲です)